

令和 4 年 6 月 22 日現在

機関番号：32697

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2019～2021

課題番号：19K00067

研究課題名(和文)[根本]説一切有部の聖典に属する新出サンスクリット語写本断簡の基礎的研究

研究課題名(英文) Investigating Newly Found Sanskrit Fragments Belonging to the (Mula) sarvastivadins

研究代表者

生野 昌範 (Shono, Masanori)

国際仏教学大学院大学・公私立大学の部局等・研究員

研究者番号：60512928

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,300,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、アメリカ合衆国ヴァージニア州のプライベート・コレクションにおける126点のサンスクリット語仏教写本断簡のテキスト作成と読解研究を行なった。126点のサンスクリット語写本断簡の内訳は、『ヴィナヤ・ヴィバング』に属する87点の断簡と『ヴィナヤ・ウッタラグラント』の「ウパーリ・パリプリッチャー」に属する2点の断簡、ならびに『ディールガ・アーガマ』の「アパッナカ・スートラ」に属する2点の断簡と『サムユクタ・アーガマ』に属する15点の断簡、および同定することができなかった20点の断簡である。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究では、[根本]説一切有部の聖典に属する新出のサンスクリット語写本断簡を検討して、研究者が今後利用するにあたいするサンスクリット語テキストの基礎的資料を作成した。本研究で作成したテキストは、今までサンスクリット語テキストとしては現存していなかったものである。インドで誕生した仏教は、サンスクリット語だけではなく、種々の言語によって翻訳されて伝承されている。しかし、サンスクリット語で現存している文献は少なく、新たなサンスクリット語文献の発見は仏教研究を進展させる原動力となる。

研究成果の概要(英文)：This project investigated 126 Sanskrit fragments in a private collection in Virginia, USA. The fragments consist of 87 belonging to the Vinayavibhanga, 2 belonging to the Upalipariprccha in the Vinaya-uttaragrantha, 2 belonging to the Apannakasutra of the Dirghagama, and 15 belonging to the Samyuktagama. 20 fragments are left to be identified.

研究分野：インド仏教

キーワード：サンスクリット語写本 律 長阿含経 雑阿含経 律経 律経自注

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

1990年代の中頃にインドの古代文字で書かれた仏教写本の断簡が大量に古写本マーケットに出現し、ノルウェーのマーティン・スコイエンやアメリカ合衆国ヴァージニア州の匿名の個人蒐集家やその他の者たちによって分割されて引き取られた。

そのうち、アメリカ合衆国ヴァージニア州のコレクションは、[根本] 説一切有部に帰属する『ディールガ・アーガマ』の大部分を保有していることで有名であるが、『ディールガ・アーガマ』以外にも『サムユクタ・アーガマ』や『ウダーナ・ヴァルガ』、さらに仏教における出家者たちの生活規範を規定した文献である『ブラーティモークシャ』や『ヴィナヤ・ヴィバング』などもこのコレクションの中に存在している。

本研究の代表者(生野昌範)は、アメリカ合衆国ヴァージニア州のこのコレクションの内の『ヴィナヤ・ヴィバング』に属すると考えられていた126点のサンスクリット語写本断簡について研究を2011年3月から行なってきた。研究を開始した当初はすべての断簡が『ヴィナヤ・ヴィバング』に属すると考えられていたが、研究を進めていくうちに『ヴィナヤ・ヴィバング』に属する87点の断簡以外にも、『ヴィナヤ・ウッタラグラント』の「ウパーリ・パリプリッチャー」に属する2点の断簡や『ディールガ・アーガマ』の「アパッナカ・スートラ」に属する2点の断簡、『サムユクタ・アーガマ』に属する15点の断簡も混在していることを突き止めていた。

2. 研究の目的

本研究の目的は、アメリカ合衆国ヴァージニア州のコレクションの中で、本研究の代表者に委任されている126点の新出サンスクリット語写本断簡のすべてを文献学的手法に基づいて考察し、[根本] 説一切有部の聖典の一斑に関する基礎的資料を確立することである。

3. 研究の方法

研究対象である126点の新出サンスクリット語写本断簡の内、テキストを同定しおわっている106点の断簡に関してテキストの作成、ならびに読解研究を以下のように行なった。

- 1) 『ヴィナヤ・ヴィバング』に属する87点の断簡は、そのチベット訳、ならびに漢訳を参照し、内容を考察した。さらに、『ヴィナヤ・ヴィバング』のサンスクリット語断簡をよりよく理解するために『律経』とその注釈の一つである『律経自注』が非常に有益であるので、それも用いた。
- 2) 『ヴィナヤ・ウッタラグラント』の「ウパーリ・パリプリッチャー」に属する2点の断簡は、そのチベット訳を参照し、内容を考察した。
- 3) 『ディールガ・アーガマ』の「アパッナカ・スートラ」に属する2点の断簡は、(南方)上座部のパーリ語テキストの『マッジマ・ニカーヤ』の「アパッナカ・スッタタ」を参照し、内容を考察した。
- 4) 『サムユクタ・アーガマ』に属する15点の断簡は、それに関連する2種の漢訳(『雑阿含経』と『別訳雑阿含経』)を用い、さらにパーリ語テキストも参照し、内容を考察した。また、『法蘊足論』や『阿毘達磨俱舍論』、『瑜伽師地論』などに関連するサンスクリット語テキストが現存している場合は、それらも利用した。

いまだ同定することができていない20点のサンスクリット語断簡に関しても、テキストの作成、ならびに読解研究を行なうことによってテキストを同定するべく努めた。

4. 研究成果

126点のサンスクリット語断簡の内訳は以下のとおりである。

- 1) 『ヴィナヤ・ヴィバング』(87点)
 - ナイッサルギカー・パーヤッティカー 第2条、第4-6条、第18条
 - パーヤッティカー 第1-11条、第81条
 - ブラティデーシャニーヤー 第3-4条
- 2) 『ヴィナヤ・ウッタラグラント』「ウパーリ・パリプリッチャー」(2点)
 - ブラティデーシャニーカー 第2-4条
- 3) 『ディールガ・アーガマ』「アパッナカ・スートラ」(2点)
- 4) 『サムユクタ・アーガマ』(15点)
 - 『雑阿含経』の第407経、第414経、第482-483経、第551-553経、第907-908経、第917-926経、第929経に対応
- 5) 未同定(20点)

以上のすべての断簡に関して、それぞれに参考となる文献を調査したうえで、テキストを作成し、読解研究を行なった。

さらに、本研究の実施中に、『ヴィナヤ・ヴィバング』の「ナイッサルギカー・パーヤッティカー」第2条と「パーヤッティカー」第6条、ならびに『ヴィナヤ・ウッタラグラント』の「ウ

パーリ・パリプリッチャー」に属する断簡の校訂テキスト、および読解研究を公表した。これら以外の断簡に関する研究は順次、公表していく予定である。

また、『律経』と『律経自注』が『ヴィナヤ・ヴィバング』の読解にとって非常に有益であるが、ゲッティンゲンに保管されているサンスクリット語資料の中から今まで利用されることがない『律経自注』の資料を新たに見出し整理した。その資料のうちの一つ (Xc 14/61 (b)) は、今まで『律経自注』であるとは認められていなかったものである。そして、もう一つの資料 (Xc 14/61 (a)) は、『律経自注』であることは報告されていたが、詳細が今までまったく知られていなかったものである。これらの資料は今後のヴィナヤ研究にとって非常に重要なサンスクリット語資料となるものである。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計9件（うち査読付論文 3件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 9件）

| | |
|---|----------------------|
| 1. 著者名 生野昌範 | 4. 巻 第3号 |
| 2. 論文標題 Vinaya-uttaragrantha の Upalipariprccha, Pratidesanika 第 2-4 条に相当するサンスクリット語断簡 | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 Bulletin of the International Institute for Buddhist Studies = 国際仏教学研究所紀要 | 6. 最初と最後の頁 91-120 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 生野昌範 | 4. 巻 第69巻第1号 |
| 2. 論文標題 三師七証 | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 印度學佛教學研究 | 6. 最初と最後の頁 427-423 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4259/ibk.69.1_427 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|---|---------------------|
| 1. 著者名 生野昌範 | 4. 巻 179 |
| 2. 論文標題 トカラ語B断簡の伝えるYasodhara | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 東洋文化研究所紀要 | 6. 最初と最後の頁 90-64 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15083/0002003228 | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|---|----------------------|
| 1. 著者名 Masanori Shono | 4. 巻 第2号 |
| 2. 論文標題 How to Become a Buddhist Monk: A Re-edition of One of the Gilgit Karmavacana Texts | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 Bulletin of the International Institute for Buddhist Studies = 国際仏教学研究所紀要 | 6. 最初と最後の頁 57-106 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 生野昌範 | 4. 巻 第 68 巻第 1 号 |
| 2. 論文標題 『雑阿含經』第 482-483 經に相当する新出サンスクリット語断簡 | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 印度學佛教學研究 | 6. 最初と最後の頁 484-479 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4259/ibk.68.1_484 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名 生野昌範 | 4. 巻 第24号 |
| 2. 論文標題 『根本説一切有部律』に属するVinayavibhanga, Payattika 第6条のサンスクリット語断簡 | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 国際仏教学大学院大学研究紀要 | 6. 最初と最後の頁 166-123 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|---|---------------------|
| 1. 著者名 生野昌範 | 4. 巻 第25号 |
| 2. 論文標題 Vinayasutravrttyabhidhanasvavyakhyanaの古くて新しいサンスクリット語写本 | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 国際仏教学大学院大学研究紀要 | 6. 最初と最後の頁 63-92 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名 生野昌範 | 4. 巻 第70巻第1号 |
| 2. 論文標題 Vinayasutravrttyabhidhanasvavyakhyanaの利用価値 | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 印度學佛教學研究 | 6. 最初と最後の頁 468-463 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|---|---------------------|
| 1. 著者名 生野昌範 | 4. 巻 第4号 |
| 2. 論文標題 根本説一切有部律に属するVinayavibhangaのNaissargika Payattika第二条に相当するサンスクリット語断簡 | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 Bulletin of the International Institute for Buddhist Studies = 国際仏教学研究所紀要 | 6. 最初と最後の頁 33-70 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著 - |

〔学会発表〕 計4件(うち招待講演 1件/うち国際学会 0件)

| |
|-----------------------------|
| 1. 発表者名 生野昌範 |
| 2. 発表標題 upadhyayaとacarya |
| 3. 学会等名 日本印度学仏教学会 |
| 4. 発表年 2020年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 生野昌範 |
| 2. 発表標題 ノルウェーと米国のコレクションに含まれる梵文『雑阿含経』断簡 |
| 3. 学会等名 日本印度学仏教学会 |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 生野昌範 |
| 2. 発表標題 Vinayasutravrttyabhidhanasvavyakhyanaのサンスクリット語写本残簡 |
| 3. 学会等名 日本印度学仏教学会 |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 生野昌範 |
| 2. 発表標題 インド仏教において布薩とはどのような機能をはたしていたのか |
| 3. 学会等名 「科学と仏教思想」研究会（招待講演） |
| 4. 発表年 2019年 |

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

| 氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号) | 所属研究機関・部局・職 (機関番号) | 備考 |
|---------------------------|-----------------------|----|
|---------------------------|-----------------------|----|

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

| 共同研究相手国 | 相手方研究機関 |
|---------|---------|
|---------|---------|